学校だより　第４20号　令和５年　４月号

牧小だより

子供のよさを見つけ、引き出し、つないで拓く

■１年生１９名を迎えてスタート

当日は豪雨が心配されるという日でしたが、高学年が１年生を迎える準備を整え、１９名の１年生を迎えて入学式、始業式を行うことができました。入学式で１年生に対して、「い」と「あ」を示して話しました。「い」は自分の命も友達の命を大切にしましょう、「あ」はいつでも誰にでも挨拶をしましょうと伝えるためでしたが、「い」を示すと１年生が「いちねんせいの『い』」と即座に答えました。この様子を見て、１年生の入学への期待の大きさを感じました。その通りに、１年生は毎日よく学んでいます。毎日くたくたになっているのは、頭をよく使って学んでいる証拠とし、励ましています。他の学年も、１年生を助けてあげよう、教えてあげようという意識が高く、大変ほほえましい姿をたくさん見ます。校門でのあいさつボランティアは４月も続けられており、昨年の５月からずっと続けられていることに感心しています。無理をしなくてもよいことを伝えながら労っています。

今年度は、主に教頭が校門に立って子供たちを迎えるようにしていますが、先日、わたしが校門に立ったときにこんなことがありました。１年生と一緒に歩いてくださる方が複数おられたのですが、そのうちのお一人が校門に入っていく１年生の後姿を見て涙ぐんでおられました。聞けば、１年生の大きく成長した姿、仲間と一緒に校門に入っていく姿がうれしかったということでした。この話を伺い、改めて考えるきっかけになりました。「いちねんせいの『い』」と答えた１年生、ランバック姿で校門に入っていく姿を感涙する思いで見送るご家族、どちらも自らの成長や家族の成長を拓いていくという気持ちが共通しているように感じます。わたしたち職員も、子供たちの成長や学びのために努力しようと改めて覚悟しました。楽しい学校であると同時に、学校でこそ学ぶことのできる社会性や協調性を身に付けていくことを目指します。詳細はＰＴＡ総会の資料に載せますが、牧小ブランド「少人数」をインクルーシブ教育につなぎ、少人数集団で過ごすメリットを最大に引き出し、昨年度の児童アンケートから見えてきた少人数のデメリットを改善すべく、以下のような内容を重点として取り組みます。大事な子供たちのよさを見つけ、引き出し、つないで未来を拓いていくよう、毎日毎日を積み上げていきます。

・正しく伝え、自分と違う意見について考え、多様性・多面性を受け入れていく意識を高める
・疑問や課題をもって追究する学習習慣をつける
・自分のよさと弱さを自覚し、他の気持ちを推し量る力を高める
・ＳＯＳを出し弱みを出したり助けを求めたりする方法、力をつける
・自他の多様性・多面性を自覚し、共生力を高める
・自己有用を自覚させ自己実現力を高める
・自ら命を守る危機管理能力を高める

■どうぞよろしくお願いいたします。お世話になりました。

定期異動により、転出及び転入がありました。離任した職員は、新任地において牧地区で教えていただいたことを生かして活躍することと思います。また、転入しました職員は早く地域と学校に慣れ、牧小学校のために努力する覚悟です。どうぞよろしくお願いいたします。

■２０２３年度は牧小学校創立１５０周年　その⑧　ぜひ学校においでください

地域のみなさまからご厚志をいただき、創立記念行事が行えますことに感謝申し上げます。別紙のように記念ウィーク、記念行事を計画しました。たくさんの方にご来校いただき、みなさんご一緒に節目の時を過ごしたいと計画しました。どうぞお誘い合ってご来校くださいますよう、ご案内いたします。

校長　　古市　諭香